

令和4年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」

「コロナ禍を踏まえた各地域における外国人留学生の戦略的受入に向けた体制整備」

ニューノーマルにおける外国人留学生の戦略的受入れ体制（京都おこしやすモデル）の構築

成果報告書

令和5年2月

一般社団法人京都府専修学校各種学校協会



KYOTO
Vocational Schools
Network

目次

1. 事業概要

- 1. 1－事業の趣旨・目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- 1. 2－実施体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4
- 1. 3－全体スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4
- 1. 4－協力機関・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5

2. 事業成果について

- 2. 1. 1－会議体について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7
- 2. 2. 1－（入学前）多言語Webサイトの構築・・・・・・・・ P 10
- 2. 2. 2－（入学前）オンライン留学フェアへの参加・・・・ P 11
- 2. 2. 3－（入学前）動画の制作・・・・・・・・ P 12
- 2. 2. 4－（入学前）シンポジウムの開催・・・・・・・・ P 12
- 2. 2. 5－（入学前）「京都留学アプリ」のバージョンアップ・・ P 14
- 2. 2. 6－（入学前）メタバース空間の創出・・・・・・・・ P 15
- 2. 3. 1－（在学中 教育指導）遠隔教育システムの構築・・ P 16
- 2. 3. 2－（在学中 教育指導）日本国内短期日本語教育プログラムの開発・・ P 16
- 2. 3. 3－（在学中 教育指導）専門学校入学前教育プログラムの展開・・ P 17
- 2. 4. 1－（在学中 在籍管理・生活支援）留学生教育交流会の実施・・ P 17
- 2. 4. 2－（在学中 在籍管理・生活支援）京都文化教育体験の実施・・ P 18
- 2. 5. 1－（調査研究関係）先行事例の調査・・・・・・・・ P 19

3. 次年度に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・ P 20

1. 事業概要

1. 1 事業の趣旨・目的

京都府下においては、日本語教育機関の新規開設や高等教育機関と日本語学校の連携強化等が図られ、近年専修学校の留学生数は2016年の357人に対し、2020年は1,057人と大きく増加している（留学生スタディ京都ネットワーク調べ）。しかしながら、京都府下の大学院・学部・短期大学・高等専門学校は、2020年で10,896人と、日本全体の8.0%を占める一方で、京都府下専修学校の留学生は1.3%（1,057/79,598人）と低い。また、大学コンソーシアム京都「Kyo Tomorrow Academy」では、留学生に、京都を学び、地元産業を深く理解し、地元企業を志向するプロセスを提供する就職支援・交流コミュニティも立ち上げられているが、京都府下専修学校の取り組みは各専修学校によって状況が異なる。

身近で日本の文化・歴史に触れられたり、山紫水明の地、京都は、外国人留学生が職業教育を学ぶにも絶好のロケーションと考えられ、学校運営や教育の実践、学校教育の中核としての役割を果たす教員を対象に、職務に関する教員研修会を実施する等、資質・能力の育成を図ることで、きめ細かな教育の提供を行うなど、これまで多様な学習ニーズに応じたきめ細かな教育の提供を行ってきた 京都の専修学校への留学は魅力が大きいと確信する。

当事業では、オール京都でニューノーマルにおける外国人留学生の戦略的受入れ体制（京都おこしやすモデル）を構築し、留学生が京都で生活する中で、京都ならではの文化・芸術等に触れ親しみ、「日本で学ぶ、京都で学ぶ」動機付けを行う機会を提供するため、各学校・企業、公的機関等と連携しながら、留学生にとって魅力的な環境づくりを推進する。また、訪日前遠隔教育システムやトータル支援パッケージは、専修学校に特化した内容で取り組むとともに、長期化するコロナ禍や新たな危機にも備えられる、持続可能な仕組みを構築することをめざす。

1. 2－実施体制

事業運営委員会、事業推進委員会、産学公連携グローバル推進委員会を有機的に連動させ、プロジェクトを推進した。各委員会の個別の役割は以下の通りとした。

①事業運営委員会（年2回）

本事業の進捗を確認し、事業推進委員会等で行っている各種プロジェクトに対する意見提言を行う。

②事業推進委員会（月1回）

事業計画策定、進捗管理、予算管理等プロジェクト全般の運営・管理を行い、プロジェクトを具体的に推進する。

③産学公連携グローバル推進委員会（年1回）

京都で学ぶ留学生の増加やスキルアップ、満足度、キャリアサポートの推進に向けて、外部有識者を交えて意見交換、協議を行う。

1. 3－全体スケジュール（令和4年度）※期間：令和4年7月～令和5年2月

a.会議体について

①事業運営委員会の開催(12/2、2/17)

②事業推進委員会の開催（7/4、8/22、9/12、10/17、11/25、12/22、1/20、2/21）

③産学公連携グローバル推進委員会の開催（1/20）

b.プロジェクト概要

当プロジェクトでは、オール京都でニューノーマルにおける外国人留学生の戦略的受入れ体制（京都おこしやすモデル）を構築し、留学生が京都で生活する中で、京都ならではの文化・芸術等に触れ親しみ、「日本で学ぶ、京都で学ぶ」動機付けを行う機会を提供するため、各学校・企業、公的機関等と連携しながら、留学生にとって魅力的な環境づくりを推進した。

訪日前遠隔教育システムやトータル支援パッケージは、専修学校に特化した内容で取り組むとともに、デジタルを活用するなど、長期化するコロナ禍や新たな危機にも備えられる、持続可能な仕組みを構築した。令和4年度については、特に在学中関連施策に注力し事業を運営した。

【プロジェクト項目】

入学前	①多言語 Web サイトの更新
	②オンライン留学フェアへの参加
	③動画の制作
	④オンラインオープンキャンパス、ウェビナーの開催
	⑤「京都留学アプリ」のバージョンアップ
	⑥メタバース空間の創出
在学中（教育指導）	①訪日前遠隔教育システムの見直し
	②日本国内短期日本語教育プログラムの見直し
	③専門学校入学前教育プログラムの展開
在学中（在籍管理・生活支援）	①留学生教育交流会の実施（宮津）
	②京都文化教育体験の実施（料理、生け花、菓子）
調査研究関係	①先行事例の調査

プロジェクトに関する協力体制やそれぞれの具体的な成果については後述。

1. 4 - 構成機関・構成員等（令和4年度）

（1）事業運営委員会

	所属	氏名	役割
1	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 会長	田中 誠二	委員長
2	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 副会長	小林 靖弘	副委員長
3	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 副会長	三田 清栄	副委員長
4	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 理事	竹本 雅信	委員
5	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 理事	太田 賢	委員
6	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 理事	影山 弘典	委員
7	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 理事	加藤 俊明	委員
8	京都調理師専門学校	田中 幹人	委員
9	京都ホテル観光ブライダル専門学校	作岡 友樹	委員
10	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 事務局	山内 晴子	委員

（2）事業推進委員会

	所属	氏名	役割
1	京都仏眼鍼灸理療専門学校	棟居 清峰	委員
2	京都理容美容専修学校	溝上 知子 山本 強	委員
3	京都医健専門学校	八島 由佳子	委員
4	京都コンピュータ学院	西村 祐二郎	委員
5	京都 YMCA 国際福祉専門学校	阿部 和博	委員
6	京都栄養医療専門学校	高橋 周二	委員
7	京都調理師専門学校	田中 幹人	委員長
8	京都ホテル観光ブライダル専門学校	作岡 友樹	副委員長
9	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 事務局	山内 晴子	委員

（3）産学公連携グローバル推進委員会

①教育機関

	氏名	所属	役割
1	棟居 清峰	京都仏眼鍼灸理療専門学校	委員
2	溝上 知子 山本 強	京都理容美容専修学校	委員
3	八島 由佳子	京都医健専門学校	委員
4	西村 祐二郎	京都コンピュータ学院	委員
5	阿部 和博	京都 YMCA 国際福祉専門学校	委員
6	高橋 周二	京都栄養医療専門学校	委員
7	田中 幹人	京都調理師専門学校	委員長

8	作岡 友樹	京都ホテル観光ブライダル専門学校	副委員長
9	井尾 美穂	ISI ランゲージスクール	委員
10	近藤 和行	京進ランゲージアカデミー	委員
11	大元 守	西安外国語大学	委員
12	周 莉	青島酒店管理職業技術学院	委員
13	福村 志郎	PT. JELLYFISH EDUCATION INDONESIA	委員
14	Verawati	PT. COKRO PANGUKIR CAHAYA (Coach)	委員
15	NGUYEN VAN Hao	ドンドー日本語センター	委員

②企業・団体

	氏名	所属・職名	役割
1	山内 晴子	一般社団法人 京都府専修学校各種学校協会 事務局	委員
2	室野 拓	留学生スタディ京都ネットワーク事務局長	委員
3	行元 沙弥	NPO 法人グローバル人材開発センター代表理事	委員
4	北田 亮介	株式会社 FREEMIND 取締役	委員
5	林 亮太	株式会社共立メンテナンス 寮事業本部京都支店長	委員
6	余田 泰洋	株式会社ジェイオフィス代表取締役社長	委員
7	川崎 敏矢	TERAFUL 代表	委員

③行政機関

	氏名	所属・職名	役割
1	八木 寿史	京都府国際課 参事	委員
2	後藤 英之	公益社団法人京都府観光連盟 専務理事	委員

④オブザーバー

	氏名	所属・職名
1	川本 一範	京都市 総合企画局総合政策室大学政策担当 留学生支援・大学連携推進 担当

2. 事業成果について

2. 1. 1-会議体について

a.事業運営委員会

第1回日時：2022/12/2 16:00-17:00

参加者：9名

議題：報告事項1. 今年度の取り組み進捗状況について（説明20分、質疑10分）

- <入学前> (1) 多言語 Web サイトの更新
(2) オンライン留学フェアへの参加
(3) 動画共有プラットフォームの活用
(4) シンポジウムの開催
(5) メタバース空間の創出
(6) 遠隔教育システムの活用

- <在学中> (7) 留学生教育交流会等のイベント実施
(8) 京都文化教育体験の実施

- <その他> (9) 先進事例調査（東京都および福岡県）

協議事項1. 次年度の取り組み方向性について（説明5分、協議20分）

第2回日時：2023/2/17 16:00-17:00

参加者11名

議題：報告事項1. 今年度の取り組み進捗状況について（説明20分、質疑10分）

審議事項1. 次年度の取り組み方向性について（説明5分、協議20分）

b. 事業推進委員会



1回目日時：2022/7/4 14:00-15:00

参加者：9名

- 議題： (1) 留学生教育交流会（宮津天橋立）
(2) 文化体験（食文化体験：寿司）
(3) 日本語学習ツール（日本就職成功アプリ）
(4) シンポジウム（9月開催）

2 回目日時：2022/8/22 15:00-16:00

参加者：9名

- 議題：(1) 事業全体の進捗状況
(2) シンポジウム（10月開催）
(3) 動画制作
(4) その他（近プロ会議、食文化体験、就職成功アプリ、メタバース）

3 回目日時：2022/9/12 13:00-14:00

参加者：9名

- 議題：(1) 事業全体の進捗状況
(2) シンポジウム（10月開催）の実施要領
(3) 留学生教育交流イベント（宮津）の実施
(4) 他地域の取り組み（東専各、大専各、香専各、和検財団）
(5) その他（動画撮影工程、9/8 食文化体験報告など）

4 回目日時：2022/10/17 15:00-16:00

参加者：9名

- 議題：(1) 事業全体の進捗状況
(2) シンポジウム（10月開催）の振り返り
(3) 留学生教育交流イベント（宮津）の実施
(4) 他地域の取り組み（岡専各）
(5) その他（日本就職成功アプリ利用状況、海外 Web 説明会予定など）

5 回目日時：2022/11/25 14:00-15:00

参加者：9名

- 議題：(1) 事業全体の進捗状況
(2) 留学生教育交流イベント（宮津）の振り返り
(3) 留学生教育交流イベント（京都）の実施
(4) 京都文化教育体験の実施
(5) その他（岡山専各：学費徴収 Sys、出席管理 Sys トライアル）

6 回目日時：2022/12/22 9:00-10:00

参加者：10名

- 議題：(1) 事業全体の進捗状況
(2) 京都文化教育体験の実施（生け花 2/14、和菓子 2/22）
(3) 成果報告シンポジウムの実施（2/16）

7 回目日時：2023/1/20 10:00-11:00

参加者：10名

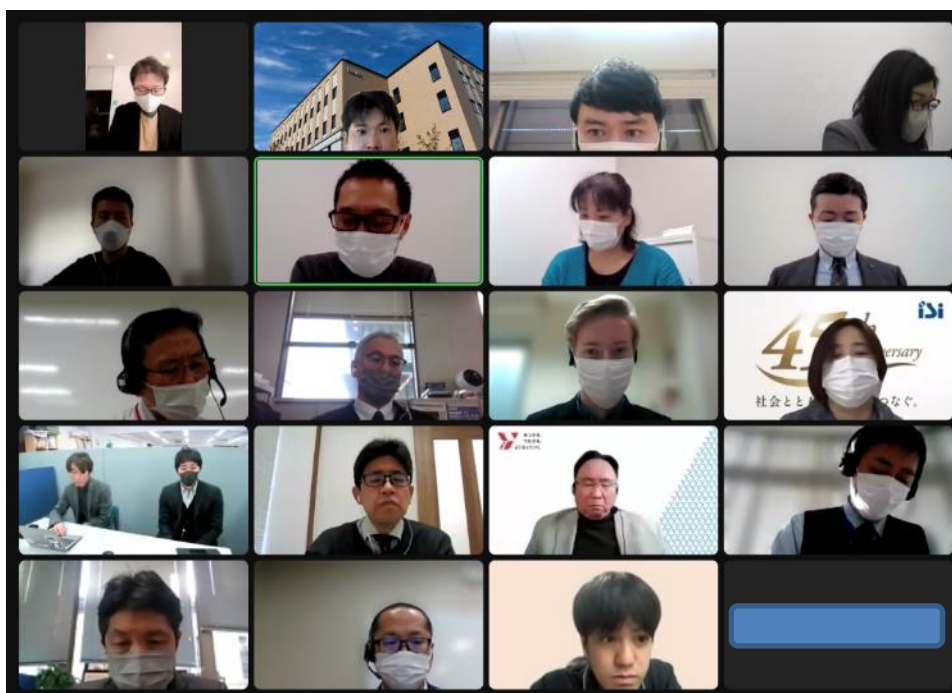
- 議題：(1) 産学公連携グローバル推進委員会を受けて（次年度方向性など）
 (2) 成果報告シンポジウムの実施（2/16）

8回目日時：2023/2/21 16:00-17:00

参加者：9名

- 議題：(1) 今年度の取り組み進捗状況
 (2) 次年度の取り組み方向性

c. 産学公連携グローバル推進委員会



日時：2023/1/20 9:00-10:00

参加者：20名

議題：報告事項1. 今年度の取り組み進捗状況について（説明20分、質疑10分）

- <入学前> (1) オンライン留学フェアへの参加
 (2) 動画共有プラットフォームの活用
 (3) シンポジウムの開催（10/14、2/16）
 (4) メタバース空間の創出
 (5) 遠隔教育システムの活用

- <在学中> (6) 留学生教育交流会の実施（宮津）
 (7) 京都文化教育体験の実施（和食、いけばな、和菓子）

協議事項1. 次年度の取り組み方向性について（説明5分、協議20分）

2. 2. 1 - (入学前) 多言語Webサイトの更新

京都府下の専修学校を広く国内外に発信し、より多くの外国人留学生在が京都を留学先として認知し、各専修学校外国人留学生誘致をサポートとするものとして、また京都で学ぶ留学生在が支援サービスの情報を容易に入手できるサイトを充実させた。多言語対応として、日本語のほか、英語・中国語（簡体字）、ベトナム語ページを準備しているが、今年度はそれぞれ「京都の専修学校の魅力」「卒業後の進路」「各種サポート」「京都での生活」「留学生在の声」のページを追加・更新した。

「京都の専修学校の魅力」

 <p>創る</p> <p>大好きな日本のアニメや漫画！しっかり学んでクリエイターとして活躍したい</p>	 <p>もてなす</p> <p>世界中の人々が訪れるまち京都で、最高のコミュニケーション能力を身につけたガイドを目指したい</p>	 <p>おいしく</p> <p>繊細で美しい京料理に憧れています！いつか自分の手でできるようにになりたい</p>
---	---	---

「卒業後の進路」

1. 日本国内・京都で就職する

専門学校での就職活動は学校主導型で、効率的に進めることが可能です。
大きな特徴の一つは、普段の学生をよく知るクラス担任と、企業の採用情報に精通している就職指導専門スタッフによる連携です。
学生一人一人の希望と適性に合った企業選びを実現します。

専門学校の就職活動の特徴

1 入学時から始まる就職意識を高める指導	2 カリキュラムと一体化した就職活動への綿密な準備	3 実績を重ね企業と強い信頼関係	4 担任と就職指導部の連携で一人一人に親身に指導	5 卒業後もキャリア相談など手厚くフォロー
--------------------------------	-------------------------------------	----------------------------	------------------------------------	---------------------------------

「各種サポート」

 <p>奨学金</p>	 <p>日本語教育プログラム</p>
--	---

「京都での生活」

入国前

入国ビザの取得

学校への入学が決まり、入学許可を得た後、入国のためにビザ（査証）を取得しましょう。

取得する資格	留学
入国ビザの取得方法	入国ビザについて 京都留学情報サイト

● アルバイトをする方は

入国後アルバイトをする留学生在は、事前に出入国在留管理庁に「資格外活動許可」の申請、承認を受ける必要があります。入国時に資格外活動許可を申請しましょう。必要書類は、出入国在留管理局に置いてあるものを使用するか、事前に [出入国在留管理局のWebサイト](#) からダウンロードが可能です。新規入国時に資格外活動許可の申請を行わなかった場合は、大阪出入国在留管理局で「資格外活動許可」の申請を行います。

「留学生の声」



2. 2. 2- (入学前) オンライン留学フェアへの参加

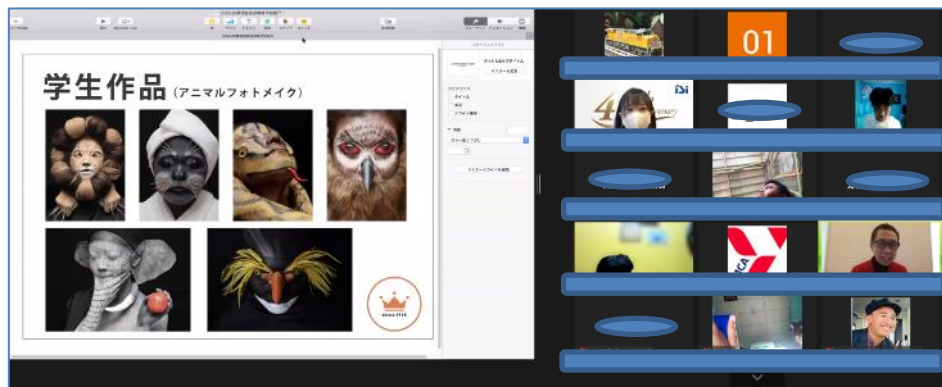
京都府下の専修学校を広く国外に発信し、より多くの外国人留学生が京都を留学先として認知し、各専修学校外国人留学生誘致をサポートとするものとして、また京都で学ぶ留学生が支援サービスの情報を容易に入手できる留学フェアを実施した。中国、ベトナム、インドネシアとオンラインでつなぎ、各国1回ずつ実施。

【中国】	2022/11/11 13:00-14:30	参加者：4965名
【インドネシア】	2023/01/21 12:00-14:00	参加者：122名
【ベトナム】	2023/02/18 12:00-14:00	参加者：60名

当日の様子 (中国)



当日の様子 (インドネシア)



当日の様子（ベトナム）



2. 2. 3 - (入学前) 動画の制作

京都府下の専修学校を広く国内外に発信し、より多くの外国人留学生が京都を留学先として認知し、各専修学校外国人留学生誘致をサポートとするものとして、京都で学ぶ留学生が学校情報を入手できる多言語（日英、日中、日越）テロップ対応の動画を作成。留学生自身がより自身のキャリアデザイン、ライフデザインがしやすいよう、在校生や卒業生から京都や専修学校の魅力等を伝えてもらう内容とした（8校*3言語対応=24本）。

また、京都ならではの行事や今年度実施した文化体験や交流会の開催レポート動画を通じて、京都の魅力も発信できるようにした（6本*3言語対応=18本）。

卒業生紹介



京都の魅力



2. 2. 4 - (入学前) シンポジウムの開催

京都府内における専修学校に進学する留学生誘致プロジェクト「京都おこしやすモデル」の周知浸透を図るため、シンポジウムを10月および2月に開催した。

京都おこしやすモデルプロジェクト公開シンポジウム

- 日時 令和4年10月14日（金）午後3時～午後5時
- 場所 京都私学会館 地階 大会議室 （Zoomウェビナーでも配信）
- 参加人数 85名（会場参加35名+Zoomウェビナー50名）
- 主催 一般社団法人京都府専修学校各種学校協会
- 内容 「外国人材受入れの今を知る」をテーマに、外国人材受入れ制度の概要や、外国人材受入れの現状とこれからについて基調講演とパネルディスカッションで発信。
- (1) 開会あいさつ
京都ホテル観光ブライダル専門学校 校長代行 作岡 友樹(当事業推進副委員長)

(2) 京都おこしやすモデルの紹介

京都コンピュータ学院 Office of Student Services 副部長 西村 祐二郎
(当事業推進委員)

(3) 基調講演「外国人材受入れ制度の概要」

大阪出入国在留管理局 審査管理部門 統括審査官 柴田 裕紀 氏

(4) パネルディスカッション「企業における外国人材受入れの現状とこれから」

大阪出入国在留管理局 審査管理部門 統括審査官 柴田 裕紀 氏

日本ITシステム株式会社 代表取締役 田中 旬一 氏

パーク ハイアット京都 人事部長 西谷 恵伊子 氏

京都栄養医療専門学校 広報渉外部主任 高橋 周二 (当事業推進委員)

(5) 閉会あいさつ

京都医健専門学校 総務経理部長 八島 由佳子 (当事業推進委員)

当日の様子 (パネルディスカッション) :



京都おこしやすモデルプロジェクト成果報告シンポジウム

日時 令和5年2月16日(木)午後3時~午後5時

場所 京都私学会館 地階 大会議室 (Zoomウェビナーでも配信)

参加人数 47名(会場参加17名+Zoomウェビナー30名)

主催 一般社団法人京都府専修学校各種学校協会(後援:京都府)

内容 プロジェクト成果報告の後、京都府内の専修学校教職員や留学生、日本語学校教員や留学生を招き、「留学生が活躍できる未来のために」をテーマにパネルディスカッション形式で参加者に発信。

(1) 開会あいさつ

京都仏眼鍼灸理療専門学校 鍼灸学科長 棟居 清峰 (当事業推進委員)

(2) 京都おこしやすモデル成果報告

京都調理師専門学校 広報渉外部 尾形 詩織

(3) パネルディスカッション『留学生が活躍できる未来のために』

京都ホテル観光ブライダル専門学校 留学生 SOE NANDAR AUNG さん
 ISI ランゲージスクール 京都校 留学生 PHAM DANG KHANH さん
 京進ランゲージアカデミー京都中央校 校長 近藤 和行 氏
 学校法人大和学園 法人事務局 人材開発グループ部長 辻 尚志

(4) 閉会あいさつ

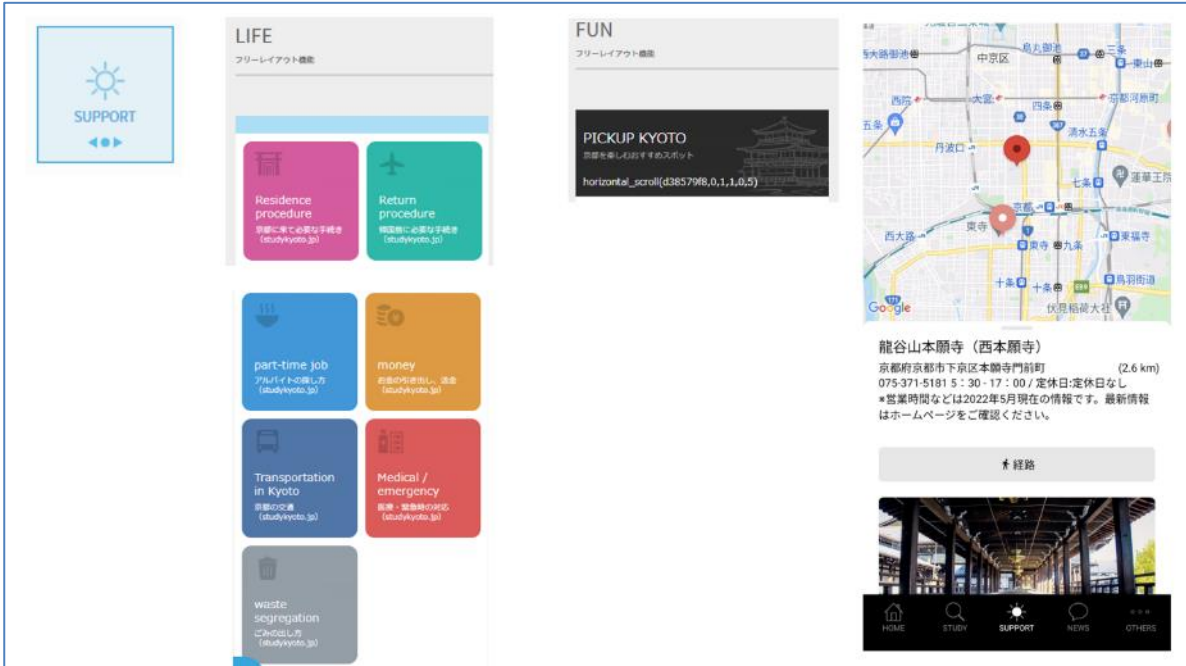
京都理容美容専修学校 事務局 アートダイレクター 山本 強(当事業推進委員)

当日の様子 (パネルディスカッション) :



2. 2. 5 - (入学前) 京都留学アプリのバージョンアップ

京都府下の専門学校に入学が決まった留学生向けにアプリを開発する。入学前から在学中、卒業後に至るまで、必要な情報すべて集約されたアプリをめざし、複数に分散している情報をまとめて提供するワンストップサービスを実現。





2. 2. 6 - (入学前) メタバース空間の創出

デジタル化推進・テクノロジー活用の観点、そしてコロナ禍で学んだ有事での対応への備えから、メタバース空間を制作。日本のアニメーションやコミックに関心の高い留学希望者・留学生が多く、仮想空間への関心も高いことから、メタバース空間でのアバターを介した情報提供や、アバターを介したコミュニケーションにより、交流の活性化を狙った。メタバースで京都らしい空間を用意し、その中で学校説明会、留学希望者・留学生・日本人学生の交流、アバターによる質疑応答などを可能とし、留学生の継続的な募集、満足度向上につなげる。





2. 3. 1 - (在学中 教育指導) 遠隔教育システムの構築


京都府下の専門学校に入学を希望する留学生向けに訪日前遠隔教育システムを構築。就職したい留学生を成功に導くアプリとして、日本語能力試験（JLPT）のN3レベルの学習に加え、日本のマナーをいつでも、どこでも勉強できるアプリを活用。



2. 3. 2 - (在学中 教育指導) 日本国内短期日本語教育プログラムの開発


専門技術の学習を通じて、日本語学習を行えるコンテンツを6本作成した。留学生自身が興味を持っている分野の専門技術の学習を通じて日本語能力を高めることで、専門分野を身近に感じ、より高いレベルでの日本語能力の向上、また専門学校入学後のスムーズな学びにつなげる。

専門技術で日本語学習



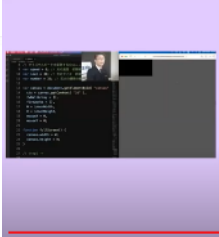
手のひらや指のほらさ
_____。
_____の部分^{せう}は汚れが
落ちにくいので、特に丁寧に
洗いましょう。
手の甲、指の背は、反対側の手を
_____、まんべんなく洗えるよう
動かしましょう。
指の背を洗うときは、指を少し
指のしわを伸ばしながら洗いましょう。

ベッドから立つ前に…



Q1. まず、車いすをどうしますか。
Q2. ベッドと車いすの位置はどうですか。
Q3. ご利用者さんに何をもらいますか。
Q4. そのとき、介護者は何をしますか。

① fullScreen



今回のプログラムでは何のために使いますか。
今回のプログラムでは、黒い部分を _____ に _____ して、 _____ ために使います。

2. 3. 3 - (在学中 教育指導) 専門学校入学前教育プログラムの展開

専門学校入学後の授業をはじめからスムーズに参加できるよう専門分野の技術紹介動画（基本技術）を7本作成。

各分野の基本技術（観光ガイド）



各分野の基本技術（製菓）



2. 4. 1 - (在学中 在籍管理・生活支援) 留学生教育交流会の実施（宮津）

直接的・リアルにつながれる場として、日本語学校や専門学校の留学生を対象とした教育交流会を実施した。今年度は11月に天橋立のある京都府宮津市にて開催し、中国、ミャンマー、ロシア、台湾、タイ、マレーシア、韓国、インドネシア、ベトナムなど18か国36名の留学生（日本語学校および専門学校）が参加した。京都北部地域という普段とは異なる環境で、新たに出会うメンバーとの交流だけでなく、教育イベントとして『京都おこしやすモデル』におけるサポートや専門学校で学ぶことの意義についてのレクチャー、留学生からそれぞれの専門学校に関するプレゼンテーションなどが行われた。専修学校自体や職業教育に対する理解促進に寄与したほか、「ほかの国の学生と交流できてよかった」「新しい友達ができた」といった感想が多く寄せられ、リアルな場・つながりの重要性を再認識するイベントとなった。

当日の様子





2. 4. 2- (在学中 在籍管理・生活支援) 京都文化教育体験の実施 (料理、生け花、菓子)

直接的・リアルにつながる場の提供の一環として、京都での留学生生活の満足度向上や京都での就労時に間接的に役立てることを目的に、交流の輪を広げながら伝統文化や伝統産業について学べるプログラムを実施。今年度は日本料理・生け花・和菓子といった伝統文化の体験を通じて京都の魅力を肌で体感するとともに、京都や日本の文化に関する幅広い知識と教養を身に付け、母国と日本との異文化理解にもつなげた。またここでも専修学校自体や職業教育に対する理解促進といった効果があった。今後に向けては京都に多く立地する先端 IT 企業も「京都らしさ」であるという見地から、専門学校に関連する分野の企業見学等も検討している。

第1回の文化体験は9月に日本料理をテーマに実施し、中国、フランス、アメリカ、タイ、オーストラリア、インドネシア、ミャンマーなど16カ国30名の留学生（日本語学校および専門学校）が参加した。プログラムは、講師のデモンストレーション、巻き寿司1本と手毬寿司6貫を参加者がつくる実習、専門学校のプレゼンテーションおよび交流会という内容で、「専門学校で学んでみたい」「良い雰囲気でも元気をもらえた」といった声が日本語学校の留学生から出るなど、教育行事として有意義なイベントとなった。

第2回の京都文化教育体験は2月（14日）にいけばなをテーマに実施し、中国、フランス、オランダ、タイ、マレーシアなど10カ国20名の留学生（日本語学校）が参加した。プログラムは、講師のデモンストレーションの後、いけばな体験を実施。最後に専門学校のプレゼンテーションおよび交流会という内容で、「とてもいいイベントでした！」「京都に専門学校が多いことにびっくりです。これから調べたい」といった声が日本語学校の留学生から出るなど、教育行事として有意義なイベントとなった。

第3回の京都文化教育体験は2月（22日）に和菓子をテーマに実施し、中国、ベトナム、インドネシアの他、マレーシア、フランス、オーストラリアなど11カ国17名の留学生（日本語学校）が参加した。プログラムは、講師のデモンストレーションの後、和菓子づくり体験を実施。最後に専門学校のプレゼンテーションおよび交流会という内容で、「日本の文化を学べた」「他の留学生と一緒に勉強できた」といった声が日本語学校の留学生から出るなど、教育行事として有意義なイベントとなった。

日本料理体験の様子



いけばな体験の様子



和菓子づくり体験の様子



2. 5. 1 - (調査研究関係) 先行事例の調査

企業や団体の先進的な取り組みから学び、当事業それぞれの取り組みに活かしていくことを目的に、福岡県専修学校各種学校協会、東京都専修学校各種学校協会へのインタビュー調査を実施した。各地域の留学生関連事業に関して、実施体制（メンバー、活動の頻度）やそれぞれの取り組み、これまでの成果、課題等のディスカッションを行った。

<日程> 2022年07月 一般社団法人福岡県専修学校各種学校協会

2022年10月 公益社団法人東京都専修学校各種学校協会

当日の様子（福岡県）



当日の様子（東京都）



3. 次年度に向けて

今期は、入学前の取り組み充実とともに在学中の取り組みにも新たに着手した。次年度はさらにこれらの取り組みをブラッシュアップするとともに、出口となる卒業後の進路（就職や進学）に関する取り組みにも注力する。

就職支援とともに、幅広い進路の開拓および進路支援体制の構築、企業とのマッチング体制の整備を進める。また、卒業後の日本企業における定着支援、企業の外国人材受け入れ促進の支援にも取り組む予定である。

<成果報告書>

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、《一般社団法人京都府専修学校各種学校協会》が実施した令和4年度「専修学校留学生の学びの支援推進事業」の成果をとりまとめたものです。